

学 習 指 導 案

岩手県立一関工業高等学校

日 時 23年11月10日(木曜日) 1～3校時

場 所 電気科工作実習室

| | | | |
|---------|---|-------|---------------------------|
| 授業担当者 | 篠原 信孝 | 対象クラス | 電気科 1年 3班 10名 |
| 科 目 | 工業技術基礎 | 使用教科書 | 工業基礎実習 電力調節器の製作 |
| 単 元 | ものづくり工作 (電力調節器の製作) | 本時の位置 | (2) シャーシの製作2 (18時間の中の3時間) |
| 単 元 目 標 | プリント基板の製作、シャーシの加工、部品の取り付け作業を通じ、電気機器の製作、検査、調整について理解を深める。 | | |
| 本 時 目 標 | アルミシャーシの穴あけ、折り曲げを通して安全について学び、規範意識を認識させ、更には穴あけした製品を流通させる場合を想定し、製造物責任法(PL法)の観点から製造者の責任を考え、技術者としての倫理観を高める。 | | |

指 導 過 程

| 段階 | 学 習 活 動 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点と評価の観点 |
|-------------|--|---|---|
| 導 入 | 1. 前時の確認をする。 2. 本時の確認をする。 | 1. 諸注意・安全の認識。 シャーシの寸法出し、けがきを 終えているか。 2. 工具を使つての穴あけ、折 り曲げを提示。 | 1. 認識できているか。(D) 前時の作業を終えているか(対図面)。 2. 再度 諸注意・安全にいて頭に入っ ているか。(D) |
| 展 開 | 1. シャーシへの穴あけ。 2. シャーシの折り曲げ。 3. シャーシの完成。 (かたづけ含む) 4. 穴あけ作業からの発展。 | 1. a ボール盤を使つての作業 であることを説明し、プリント の資料に基づいて穴あけ練 習する。 b 穴あけ作業を行う。 2. 万力と折り曲げ機を使つて の作業であることを説明し、 作業を行う。 3. 下ケースと上ぶたを合わせ てみて、シャーシの出来を評 価する。 4. 自分達が穴あけしたものを 子供向けの玩具(商品)と想 定し、製造者が果たすべき責 任について考えさせる。 | 1. a 説明をしっかり聞いているか。興 味・関心をもって練習しているか。 (A、C) b 最終的な穴あけの状態を評価する。 (C) 2. 折り曲げの状態を評価する。(C) 3. シャーシを総合的に見て評価する。 (B) 4. PL法の説明を聞いた上で、自分の 考えをまとめる。(B) |
| ま と め | 1. シャーシの完成度。 作業の反省、諸注意・安全 について。 2. 製造者が果たすべき責任 について 3. 次時の予告。 | 1. シャーシの総合評価。 諸注意・安全を徹底できた か。 2. 技術者としての倫理観を 教示する。 | 1. 諸注意・安全を徹底し規範意識を認 識できたか。(D) 2. PL法の意義と正しい理解を促し、 技術者としての倫理観を醸成させる。 |

◆評価の観点 ～ 関心・意欲・態度:(A), 思考・判断・表現:(B), 技能:(C), 知識・理解:(D)